「信用金庫」がサポート

今日からできる SDGs

あなたのまわりのSDGs

2 環境 編

SDGsは特別な活動ではありません。あなたもすでに、その一部を実践しているかもしれません。
SDGs をもっと身近に感じてもらうために事例を集めてみました。
これをヒントに、さあ、あなたも今日から信用金庫と一緒にアクションを！

❶省エネに取り組もう！ 電気代の削減にもつながります。

7 8 9 13

●クールビズやウォームビズを取り入れて、環境を意識した室温（冬は低め、夏は高め）に設定しましょう。

●離席時にパソコンがスリープモードになるように設定しましょう。

●昼休み時間帯は消灯し、残業時間帯は必要な場所だけ点灯するなど、社内の節電を奨励しましょう。

●LED 照明、高効率空調設備・給湯器など省エネ対応設備を導入しましょう。

●フィルムやブラインドなどを用いて窓の断熱性や遮熱性を向上させましょう。

❷温室効果ガスを削減しよう！ クリーンなエネルギーを利用しよう！

7 8 9 11 13

●通勤では公共交通機関や自転車の利用を奨励して、マイカー通勤を減らしましょう。

●再生可能エネルギー由来の電力への切替えを検討してみましょう。

●営業車は EV やハイブリッド車など環境に配慮した車を検討してみましょう。外出先に応じて公共交通機関や自転車を利用しましょう。

❸３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組もう！

6 7 8 9 11 12 13 14 15

[リデュース]

●商品を軽量化することで、処分時のゴミを減らすとともに、材料が減るためコストカットにもつながります。梱包する段ボールの軽量化に取り組む企業もあります。

●商品を長持ちさせることや、修理・メンテナンスの体制を整えること、詰め替え用商品を開発することなどもリデュースにつながります。

●社員に向けては、エコバッグやマイボトルの使用を推奨しましょう。

[リユース]

●使われなくなった商品を回収して整備し、再使用しましょう。中古品として福祉施設に寄贈したり、下取りした機械を新興国で販売したりする企業もあります。

[リサイクル]

●廃棄物を再利用しましょう。廃棄物を丁寧に分別することで、再利用可能な資源を抽出できることもあります。

●農業や林業関連では、間伐材をバイオマス燃料などに幅広く活用しています。活用されない樹木でキノコを栽培し、キノコの収穫後に不要となった菌床を堆肥として活用する企業もあります。

❹森や海などの自然環境を守ろう！

2 3 6 11 12 13 14 15

[森]

●紙の無駄遣いをやめましょう。その印刷、そのコピー、本当に必要か考えてみましょう。

●ペーパーレス化に取り組みましょう。会議をオンラインで行ったり、給与明細、契約書などを電子化したりしましょう。文書保管コストも削減できます。

●名刺やコピー用紙に使用する紙は、森林保全を意識したものを選びましょう。再生紙やFSC® 認証紙などが選択肢となります。

●敷地や屋上の緑化に取り組みましょう。そのほか、植林活動をしている企業もあります。希望を募って社員家族も参加すれば、教育を兼ねたレクリエーションにもなります。

[海]

●自社商品・サービスを見つめ直し、プラスチックの削減に取り組みましょう。商品容器、外袋、梱包用緩衝材（プチプチ）、ストロー、スプーンなどは、バイオマスプラスチックや紙などで代替することを検討しましょう。

●海洋生態系にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みがありますので、そうした認証のある魚介類を扱うことも一考ですね。

●節水を心掛けましょう。水を大量に使用する工場では、雨水を利用している企業もあります。水道代の節約にもつながります。

●排水処理にも気を遣いましょう。排水処理基準を満たすことはもちろんのこと、植物成分からできたヘアカラー剤を用いている美容院や、環境対応型インキであるノンVOCインキ（石油系溶剤 1%未満）を使用している印刷会社もあります。

しばしんの SDGs宣言

芝信用金庫は「SDGs」の理念に賛同し、協同組織金融機関としての社会的責任と公共的使命のもと、様々な金融サービスを通じて、関係機関との連携・協力を図りながら、地域経済の発展と社会的課題の解決、持続可能でよりよい社会の実現を目指します。（宣言日:2021年6月1日）

SHIBASHIN 芝信用金庫

しばしん SDGs宣言

この製品は、適切に管理された FSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。

印刷時に有害な廃液が出ない「水なし印刷」で印刷しています。

制作：信金中央金庫　協力：（独）中小企業基盤整備機構　発行日：2022 年10月

本リーフレットは情報提供を目的としています。意思決定はご自身の判断でなさるようにお願いします。
また、制作者が信頼できると考える情報等に基づいて作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。

あなたのまわりのSDGs

3 環境／業種別編

飲食業

［運営・対応］

●場所や時間帯に応じて空調設定温度を調整しましょう。空調や換気フィルターの清掃も省エネにつながります。

●プラスチック製品の削減に取り組みましょう。

●食品ロスを防ぐために、衛生面に配慮したうえで、食べ残しの持帰りを勧奨しましょう。宴会時の「3010 運動」（乾杯後30分・お開き前10分の自席での食事）も顧客に紹介しましょう。

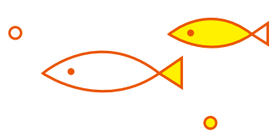
●海洋生態系にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みがありますので、そうした認証のある魚介類を扱ったメニューを考えてみましょう。

●フライヤーは適切な温度で使用するほか、営業開始時間に合わせて点火するようにしましょう。

●廃油は適切に処理をしましょう。無料で回収してくれて、燃料に再利用している企業もあります。

［設備］

●照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。



卸売業・小売業

［運営・対応］

●倉庫や室内の空調設定温度を適温にしましょう。ブラインドによる日射の遮蔽も有効です。

●省ける照明を間引いたり、照度を調整したりしましょう。清掃によって照度も上がります。開店前や閉店後の点灯時間の削減にも努めましょう。

●買い物袋の持参を推奨しましょう。有料レジ袋はバイオマス素材のものを採用し、過剰な包装も止めましょう。食品トレーなど再資源化可能なものは、回収に努めましょう。

●規格外品は規格外品として販売しましょう。スーパーであれば、食品ロスを削減するために、「てまえどり」（消費期限が近く、手前に陳列された商品の購入）を推奨したり、早めに見切り商品として扱ったり、子ども食堂に無償提供したりする企業もあります。また、食品流通における、納入期限を賞味期限の３分の１以内とする商慣行を緩和することも検討しましょう。

●家庭で使いきれなかった未使用の食品を集め、福祉施設に提供している企業もあります。

［設備］

●照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。

建設業・不動産業

［企画・設計］

●建設資機材を調達する際は、リサイクル製品や環境への影響を低減した製品などの「グリーン調達」を心掛けましょう。

●エネルギー収支ゼロの建物（ZEB、ZEH）を目指しましょう。太陽光発電や蓄電システムを設置したり、高効率照明・空調を導入したり、日射遮蔽や自然換気を設計に取り込んだり、高断熱窓や高断熱外皮を使用したりすることで、環境にやさしい建物になります。

［建築］

●建築現場では、EV やハイブリッド車など騒音や環境に配慮した建機を使いましょう。

［解体］

●解体材の分別を徹底し、再利用可能な資材のリサイクル率を向上させましょう。石膏ボードを段ボールに再生したり、古民家で使われていた古木をインテリア資材として再利用したりする企業もあります。

●空調機を取り外す際には、冷媒ガスの回収・再生・破壊など適切に処理しましょう。

運輸業・郵便業

［車両・運転］

●EV やハイブリッド車など環境に配慮した営業車を導入しましょう。

●アイドリングストップを励行しましょう。デジタコ（デジタル式運行記録計）を活用し、急加速・急減速等を把握して、運転者へのエコドライブ教育に活用しましょう。

［配送］

●不在再配達を減少させるために、玄関前など指定された場所に荷物を届ける「置き配」サービスを導入している企業があります。

●配送ルートを効率的に見直しましょう。他社と共同配送を行っている企業もあります。

［倉庫］

●倉庫内の節電に取り組むために、室温調節器を導入したり、室内灯に人感センサーを設置したりする企業もあります。

製造業

［製造設備・工場］

●エネルギー負担の少ない高効率の設備を導入しましょう。また、運用効率を落とさないように、定期点検を大事にしましょう。

●工場の屋根や敷地が太陽光発電に適しているかもしれません。また、工場の新設や移転を考えている場合は、輸送距離も勘案しましょう。工場を集約すれば、工場間の輸送距離が短くなり、エネルギー負担を軽減できます。

［原材料・製造工程］

●環境負荷の低い原材料を使用しましょう。

●不良品の削減や省エネに向けて製造工程の改善余地を探しましょう。エネルギー消費量や廃棄量を見える化し、原因分析や改善に取り組んでいる企業もあります。食品の製造工程で発生する副産物を飼料や肥料にしている企業もあります。

［製品］

●使用時のエネルギー消費が少なく、環境にやさしい製品の開発を試みるのはいかがでしょうか。さらには、長持ちし、処分時にもリサイクルができると良いですね。

［納品・配送］

●商品の大きさに合わせて、梱包資材を調整しましょう。梱包資材を小さくできれば、一度に配送できる量が増えて、トラック等による輸送回数を減らせますね。梱包用緩衝材の脱プラスチック化も検討しましょう。

●食品製造業であれば、賞味期限表示を「年月日」から「年月」に変更することで食品ロスの防止につなげることが期待されています。

医療・福祉

［運営・対応］

●デイサービスや介護施設では、昼食の残食を減らすために、利用者全員の嗜好調査を実施している企業もあります。送迎ルートの最適化にも取り組みましょう。

●医療機関でのオンライン診療は、移動の削減にもなります。

［設備］

●照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。